

5 ジェンダー平等を実現しよう

男女共同参画ってなあに？ Part 87

家庭の中から男女共同参画（家庭内での役割分担）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、テレワークや在宅勤務という言葉が日常的に耳にすることが増えたのではないのでしょうか。テレワークには、「働き方改革」の切り札となるだけでなく、働く人のワーク・ライフ・バランスの実現といったメリットがあります。

一方で、家族やパートナーと過ごす時間も増えたことで、お互いの心の摩擦も生じ、「家にいるのに家事をしない！」などという家庭での不満も増え「コロナ離婚」という言葉までもがささやかれるようになりました。

在宅時間が増えたという点で考えるならば、テレワークの有無に限らず、外出の自粛によって、家庭内での家事分担に同様の不満を感じた方もいらっしゃるかもしれません。「おうち時間」が増えたことを機会に、家庭内での役割分担を見つめ直してみたいはいかがでしょうか。

「女だから・・・、男だから・・・、にとらわれない家庭づくり」

●家事や育児はしてもらって当たり前という考えはやめる

→「親しき中にも礼儀あり」感謝や思いやりの気持ちを忘れずに生活しましょう

●男女ともに家事・育児・介護を担う能力をつける

→子供たちにもお手伝いを習慣づけ、**固定的な性別役割意識を取り払いましょう**

●大人の考え方は子どもに影響します

→「男（女）の子のすることだから、あなたはしなくていい」と**性別を理由とした制限はやめましょう**



問い合わせ先 政策企画課 政策企画係 ☎68-2211 (内線333)

SDGs とは？

4 質の高い教育をみんなに

目標4 質の高い教育をみんなに

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

中学校や高等学校に進学できるチャンスも限られています。世界全体でみると、16%（25人中4人）が中学校に通えず、35%（20人中7人）は高校に通えません。

出典：New methodology shows that 258 million children, adolescents and youth are out of school, UNESCO Institute for Statistics, 2019



SDGs (Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

3 すべての人に健康と福祉を

認知症地域支援推進員のつづやき 35

望む暮らしの実現は・・・

私も年を重ね、物忘れが多くなってきました。認知症は、診断されたときからはじまるのではなく、生きていく過程でなるものです。認知症で問題になるのが、色々な混乱からくるBPSD（行動・心理症状）です。言動が普段と違うなと思ったら、どうしてこの行動や言葉がでるのだろうか？と考えてみてください。本人の立場になって考えることが大切です。原因が分かれば改善できる方法が見つかります。

例えば大事なものをしまい、しまった場所を忘れて探し回り、最後には誰かに盗られたと騒ぎだす。家族は大混乱。疑われた人は、たまったものではありません。生活の中で起こる記憶の問題は、いたるところにゆがみをもたらします。記憶が保たれないつらさは、本人しかわかりません。その苦しみを少しでも理解し工夫という愛情でのりこえてみませんか？

- ・毎日使うカギ、財布、眼鏡、時計は一定の場所を決めておく
- ・毎日の日課を大切に
- ・気の合う友人との時間を大切に
- ・困った時に相談できる地域とのつながりを持つ



私たちはここにあります！

認知症地域支援推進員配置施設

- 地域包括支援センター ☎68-8941
- 複合施設 響 ☎68-8500
- 居宅介護支援事業所 介護老人保健施設もえぎ野 ☎68-6081

私が実行していることです。望む暮らしの実現は、工夫次第で実現できるのです。

10 人や国の不平等をなくそう

福祉コラム 知って欲しいなマークの意味 Vol. 6

障害者に関するマークについて【このマークを知っていますか？】

障害者に配慮した施設であることや、それぞれの障害について分かりやすく表示するため、いろいろなマークや表示があります。

右記のマークをご存知でしょうか？

オストメイト用設備／オストメイト

オストメイトとは、がんなどで人工肛門・人工膀胱を造設している排泄機能に障害のある障害者のことをいいます。このマークはオストメイトのための設備（オストメイト対応のトイレ）があることおよびオストメイトであることを表しています。

このマークを見かけた場合には、その配慮がされたトイレであることをご理解の上、ご協力をお願いします。



オストメイト

問い合わせ先 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団  
☎03-3221-6673 / FAX 03-3221-6674